








内視鏡下胃瘻造設術クリニカルパス

様

月/日	/	/	/	/
病日	手術前日	手術当日	術後1日目	術後2日目
観察	・血圧、体温、脈、腹部症状、栄養状態の観察を行います	・胃瘻チューブ挿入部の観察(出血、発赤、痛みの有無など)、腹部症状(嘔吐、お腹の張りなど)の観察を行います		
安静	・制限はありません	・手術前は制限はありません ・手術後は体調に合わせて動くことができます ・胃瘻チューブは引っ張らないように移動時や寝返り時に注意してください	・体調に合わせて動くことができます ・動く時、胃瘻チューブを引っ張らないように注意してください 	
食事	・食事が食べられます  手術前に食事が食べられないかたは、医師の指示に従ってください	・朝から飲んだり食べたりできません 	・白湯を胃瘻から注入します。 ・また、場合によっては食事が始まります	・胃瘻チューブからの注入が始まります
清潔	・入浴は通常どおりできます		・入浴ができないため、身体を拭きます 	
排泄				
診察			・消化器内科の医師の診察があります	・主治医の診察があります
処置		・胃瘻を作ります	・医師・看護師が胃瘻部の消毒をします。これは胃瘻を作ってから全抜糸まで続きます	
リハビリ				
検査			・必要時、採血をします	
薬物療法		・止血剤の注射があります(手術当日のみ) ・抗生剤の点滴が始まります(術後1日目夕まで) ・胃薬の注射があります(術後1日目夕まで)		
説明	・胃瘻造設の同意書の確認をします ・手術前日、病棟看護師から手術当日の説明があります ・手術前日、内視鏡室の看護師より手術について説明があります ・わからないことや不安なことがありましたらお伝えください	・手術時間は約1時間の予定です ・ご家族が待機している場合は、手術が終了しだいお知らせしますので、連絡が可能な場所でお待ちください ・手術後、胃瘻挿入部の痛みがありましたら、看護師にお伝えください	・胃瘻管理の方法を説明します ・退院日には排液チューブ・注入チューブをお渡しします	
指導				
目標	・胃瘻造設の目的がわかる ・手術に対して分からない事や不安が表現でき、対応が受けられる	手術後の安静が守れる 痛みに対する対応が早期に受けられる 胃瘻造設による合併症(感染、出血、腹膜炎、腸閉塞、チューブの抜去)発生時、早期発見ができる	体調にあわせ、胃瘻チューブを引っ張らないように生活できる 胃瘻造設による合併症(感染、出血、腹膜炎、腸閉塞、チューブの抜去)発生時、早期発見ができる	

症状や経過によってはスケジュール通りにならないことがあります。